

動画解説まとめ 28 / 動画・音楽制作

Vrewでつくる動画と字幕編集 実践ガイド

Vrew開発担当者による実演をもとに、台本からの動画生成、自分の写真・動画の活用、無音カット、字幕修正、ショート化までを操作順にまとめました。

この動画の要点

Vrewの担当者が実演した、AIで動画の下書きを作る方法と、撮影済みの映像を編集する方法を整理した資料です。テーマや台本からの生成だけでなく、コーヒーを入れる実写素材からの動画化、長い対談の無音カット、文字を使った不要部分の削除、字幕の調整、エージェントによるショート化までを扱います。生成結果に自分の体験や映像を加え、見やすさを確認して仕上げる考え方が中心です。

01 台本がある場合と、自分で撮った素材がある場合で作り始める機能を分ける。

02 AIの生成動画は下書き。実体験や自分の写真・動画が説明の価値になる。

03 無音をまとめて短縮した後、必要な間だけ復元して自然さを確かめる。

04 字幕の分割と字幕内の改行を区別し、スマホ画面の表示領域まで確認する。

05 エージェントへの編集指示も、完成結果を再生して確かめる。

資料の使い方

動画の要点を読み返し、紹介した手順を実践するときにお使いください。本文の時刻を押すと、元動画の該当箇所を開けます。

元動画：【2026年最新】Vrewの使い方超初心者向け徹底解説チャットだけで字幕・カット・ショート動画編集まで終わるAIがヤバすぎる【AI副業】【レビュー】

<https://www.youtube.com/watch?v=tVckoWitBys>

台本から動画の下書きを作る

動画の該当箇所 3:59 / タップして開く

「新規で作成」から「テキストから動画作成」を開き、初めてならスタイルなしで始めます。動画のテーマを入れて台本を作るほか、ChatGPTなどで準備した台本を貼る使い方も紹介されています。実演テーマはAIを使った動画制作で、追加指示として冒頭で注意を引くこと、ランキング形式、最後に行動を促すことなどを指定しました。

最後の行動を入れる理由は、視聴者が良い話だったと感じるだけで終わらず、まず何をすればよいか分かるようにするためです。文字数も指定でき、実演では短い動画にするため約300文字を選びました。生成された文章と表示された参考情報を読み、内容を確認してから次へ進みます。

横長・縦長の比率、試聴したAI音声、画像の生成方式、画像スタイルを選びます。画像の方式によって品質や消費量が異なるという説明がありますが、どれを選んでも内容確認が不要になるわけではありません。「完了」「確認」へ進むと、映像・字幕・音声を組み合わせた下書きが作られます。

- ・ 材料：テーマ、または自分で用意した台本。
- ・ 操作：構成・語り口・文字数を調整し、比率・音声・画像を選択。
- ・ 完成物：再生しながら直せる、字幕と音声付きの動画の下書き。

自分の素材を加え、説明に根拠を持たせる

動画の該当箇所 10:25 / タップして開く

同じキャラクターを登場させたい場合は、画像用の指示を具体的にします。動画の例は「黒いメガネ」「白いTシャツ」「うさぎ」という特徴の組み合わせです。うさぎとだけ指定するより、見た目の条件をそろえやすくなります。ただし、実際に同じように見えるかは生成画像を見比べます。

担当者は生成動画を下書きと位置づけ、自分の写真や映像を追加する使い方を勧めています。差し替えたいクリップを選んで「挿入」から読み込みます。スマホ内の素材なら「モバイルから読み込む」で表示されるQRコードを読み取り、写真を選ぶとパソコン側へ取り込めます。全画面にするか重ねるか、背景を除くか、何クリップ分表示するかを調整します。

金魚の水換えを説明するなら、一般的な導入はAIで補い、実際の水換えの場面には自分で撮った映像を使う考え方が示されます。視聴者が知りたいのは抽象的な説明だけでなく、その人がどう行っているかです。素材の追加を飾りとして考えるより、説明を実際に確かめられる場面に使います。

- ・ キャラクターの見た目は服・色・持ち物などで具体化する。
- ・ 操作や手順を見せたい箇所へ、自分で撮った素材を入れる。
- ・ 画像の表示範囲はバーを調整し、必要なクリップへ広げる。

字幕と読み方を直して、スマホでも読めるようにする

動画の該当箇所 17:36 / タップして開く

全体の字幕は「基本書式」でそろえ、特定の場面だけ変えたいときは対象クリップを選びます。「挿入」の「デザインテキスト」では装飾付きの文字を使い、強調のアニメーションも試しています。あべさんは、冒頭の数秒で雑に作られた印象を与えないことが、内容を見続けてもらううえで大切だと説明します。

音声の文言は鉛筆マークから編集します。固有名詞の読み間違いはカタカナなど読みやすい表記に直し、再生した音声を聞きます。字幕の区切りを変える場合は本文側でEnterを押して分離し、Backspaceで結合します。一方、同じ字幕の中だけで改行したい場合は、下側の字幕編集欄を使います。単語の途中で不自然に折り返される箇所を整える作業です。

途中から「ファイル」の画面比率でショート用へ変えることも実演しています。縦画面では字幕サイズを調整し、「ショートルレイアウト」で投稿サービスのボタンや説明欄に重なる領域を確認します。書式設定で字幕位置を一括変更し、文字が読める場所へ移します。

- ・ 基本書式は全体、クリップ選択は部分的な変更を使う。
- ・ 音声の読み方、字幕の分割、字幕内の改行をそれぞれ確認する。
- ・ 縦画面の字幕は、いいねボタンや説明欄と重ならない位置に置く。

撮りためた写真・動画から、説明付きの動画を作る

動画の該当箇所 27:01 / タップして開く

「AIでショート作成」では、先に自分の写真や動画を入れてから動画を組み立てます。実演では担当者が撮ったコーヒーの抽出映像を使い、追加の指示を入れずに生成しました。映像の内容や場面の長さに応じて台本と音声が付き、短い場面には短い言葉が選ばれる様子が確認できます。

同じコーヒーの素材でも、目的がカフェの紹介ならPR用、淹れ方を伝えるならマニュアル用、と指示することで説明の方向を変える考え方が示されます。旅行、ペット、日常の作業など、既に素材が多くある場合に合う入口です。映像を撮影した本人の経験が中心に残る点が、AI画像だけで一般論を話す動画との違いになります。

実演では映像内の温度表示も台本へ反映されていましたが、読み取りや説明が正しいかは本人が確かめます。縦画面の素材を使ったためショート形式になっており、比率は後から変更できると説明されています。

- ・ 素材の多いテーマなら、写真・動画を先に読み込む。
- ・ 紹介動画か手順動画かなど、映像を使う目的を伝える。
- ・ 生成された説明が実際の映像・手順と合うか再生して確認する。

長い撮影素材は、無音短縮と文字の削除で整理する

動画の該当箇所 32:00 / タップして開く

撮影済み動画は「新規で作成」から「ビデオとオーディオを読み込む」で開始します。担当者は自動シーン分割を使い、長い対談を内容ごとの見出しに分けました。必要な話題を開きやすくなり、食事の雑談とVrewについての説明が混ざった素材でも、目的の場面を探しやすくなります。

最初に全体の無音区間を短縮し、その後に再生して調整します。実演では約56分の素材が約42分になったと説明されました。全動画が同じ割合で短くなるわけではありません。大事な間まで詰まった場合は該当クリップの「復元」を使い、その部分だけ元の無音を戻します。

言い直しや不要な発言は、文字起こし上の該当文字を選び、Backspaceで削除して映像ごとカットします。「概要」表示では文章を読みながら選びやすくなります。あべさんは、長い一人話りの不要な話題を検索で探し、編集者へ渡す前に整理する用途を紹介しています。背景の拍手などが気になる素材ではノイズ除去を試し、処理後に声が聞き取りやすくなったか確認します。

- ・ 先に全体の無音を短縮し、必要な間を部分的に戻す。
- ・ 不要な話題は字幕の文字を手がかりに探して削除する。
- ・ ノイズ除去の結果も耳で聞き、残したい声を確認する。

チャットで編集を依頼し、書き出して仕上がりを見る

動画の該当箇所 44:26 / タップして開く

動画時点でベータ版として紹介されたVrewエージェントは、チャットから編集を頼む機能です。実演では、料理の話が混ざる長い対談からVrewの話をしている部分をショートにするよう依頼しました。比率の縦への変更、字幕の大きさや長さの調整も含めて結果が作られています。複数本のショートを依頼する使い方も説明されています。

字幕の目立たせ方、重要語の色変更、話者ごとの色分けも試しています。キーワード選びを任せるより、対象の単語と色を明示する方が正確に伝えやすいという説明があります。担当者も精度は100%ではないと述べているため、会話の意味が途切れていないか、違う話者へ色を付けていないかなどを結果で確認します。

完成後は書き出しから「モバイルに送信」を選び、QRコードを読み取って送信すると、スマホで動画を受け取れます。パソコン上では気づきにくい字幕の大きさや派手さをスマホで確認し、そのままリールなどへ使う流れです。編集を頼んで終わりにせず、実際に視聴される画面で仕上がりを見るところまでを一組にします。

- ・ 依頼の材料：編集したい元動画、残したい話題、長さや字幕の希望。
- ・ 確認する完成物：切り抜きの意味、字幕の可読性、色分け、音声。
- ・ 活用：書き出してスマホで確認し、目的の投稿へ使う。

実践の進め方

01 動画の入口を選ぶ

台本が中心ならテキストから動画作成、自分の映像が豊富ならAIでショート作成、長い撮影素材ならビデオとオーディオの読み込みを選びます。

動画 3:59

02 下書きへ自分の素材を加える

生成結果を再生し、実際の作業や体験を示す場面に自分の写真・動画を挿入します。スマホの素材はモバイルから読み込めます。

動画 14:27

03 不要な間と発言を整理する

撮影素材は無音を一括短縮して聞き直し、必要な間を復元します。不要な言葉は文字起こしから選んでカットします。

動画 38:08

04 字幕とショート画面を確認する

誤読・改行を直し、ショートルayoutで表示領域を確認します。必要に応じてエージェントへ切り抜きや色変更を依頼し、結果を再生します。

動画 23:29

05 スマホで完成動画を見る

モバイルに送信して受け取り、実際の小さな画面で字幕と音声を確認してから投稿へ使います。

動画 53:35

AIへの相談例

編集部が作成した活用例です。動画内の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

【編集部による活用例・動画の逐語プロンプトではありません】この資料を根拠に、記載外の補足は区別し、私の状況を質問してから進めるようにしてください。作りたい動画の目的、用意できる台本・写真・映像、投稿先を確認し、資料にあるVrewの制作方法から適した入口と確認事項を整理してください。私の体験を伝えるために追加した方がよい素材も一緒に考えてください。

資料について

- ・元動画の自動字幕をもとに、実演内容を整理した資料です。細かな画面操作や完成例は、各時刻から元動画で確認できます。
- ・機能名・無料範囲・エージェントのベータ版という説明は動画時点のものです。現在の画面や利用条件は利用先で確認してください。
- ・生成や編集の自動化は、視聴数・収益化・審査通過を保証するものではありません。